

2023 年 春放送
NHK連続テレビ小説
「らんまん」
のモデル
牧野富太郎

Botanical Gardens,
Graduate School of Science,
The University of Tokyo
The 5th Mini Exhibition

2023
3/1(水) ▶ 11/26(日)

小石川植物園 柴田
記念館

日光植物園 展示室 2023 4/1(土) - 11/30(木)

月曜休園（祝日の場合は翌日）

【料金】 無料（別途入園料）

牧野富太郎と 小石川植物園

第5回
ミニ企画展

牧野富太郎と小石川植物園

Botanical Gardens, Graduate School
of Science, The University of Tokyo
The 5th Mini Exhibition

牧野富太郎（1862-1957）は生涯で1,500種類にのぼる植物を命名し、日本の植物学の父と呼ばれます。牧野が在籍した東京大学植物学教室は、牧野が35歳から72歳までの37年間、小石川植物園にありました。ミニ企画展では、小石川植物園が所蔵する牧野富太郎関連の資料を展示するとともに、牧野と切磋琢磨し日本の植物学黎明期を創りあげた研究者らの功績を紹介します。日本の近代植物学発祥の地としての小石川植物園の歩みをご覧ください。



1934年頃 小石川植物園にあった植物学教室の建物。写真左のヒマヤスギは現在、本館前で大木になっている。

植物学にとって研究の証拠となる植物標本はなくてはならないものです。牧野は1889年、大久保三郎と共著で「植物学雑誌」に新種ヤマトグサを発表。これは日本人が外国人の手を借りずに初めて命名した植物です。

小石川植物園の本館には、当時の植物学者らが収集した数多くの植物標本を含む、約80万点の標本が収蔵されています。そのなかで、植



1889年 植物学雑誌に発表された新種「ヤマトグサ」のタイプ標本

物を命名する際の基準となる「タイプ標本」は1万点にのぼります。これらの植物標本にはどのような役割があり、どのように作られるのか、展示とともに解説します。

イベント

ミニ観察会

「小石川植物園の桜」

- 【講師】 清水 淳子
（小石川植物園技術専門職員）
【日程】 3月下旬～4月初旬頃（予定）
【会場】 小石川植物園 / 定員有（先着）
【料金】 無料（別途入園料）
【内容】 桜の専門家牧野富太郎との関わりを
まじえて園内の桜を解説します。



詳細は決まりしだい当園ホームページでお知らせします。このほか、植物標本講座など研究施設ならではのイベントを予定しています。

講演会

「私の知っている牧野富太郎」

- 【講師】 邑田 仁
（元 小石川植物園教授・園長）
【日程】 7月頃（予定）
【会場】 オンライン
【料金】 無料（要登録）
【内容】 牧野富太郎先生について、共感する
ところなどを話します。



オリジナル グッズ

牧野富太郎関連のオリジナルグッズを販売

- ・牧野富太郎ポートレートポストカード
- ・「大日本植物志」植物画ポストカード（ヤマザクラ、サクユリなど）
- ・「大日本植物志」英語版表紙のクリアファイル

小石川植物園（柴田記念館）では2月頃、日光植物園（受付）では4月頃に販売開始予定



アクセス

小石川植物園（柴田記念館 10:30-16:00）



【電車】
都営地下鉄三田線「白山」駅A1出口
徒歩10分
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅1番出口
徒歩15分
【バス】
文京区コミュニティバスB-ぐる「共同印刷」
下車徒歩3分
都営バス（上60）「白山2丁目」
下車徒歩3分
※園内に駐車場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

日光植物園（展示室 10:00-16:00）



【電車】
JR「日光」駅または東武線「東武日光」駅
より3.5km
【バス】
東武バス（清滝、中禅寺温泉、湯元温泉、
やしおの湯行）「日光植物園」下車徒歩2分
【車】
日光宇都宮道路「日光」または「清滝」
インターより5-10分
※園内の無料駐車場をご利用ください。

〒112-0001 東京都文京区白山3-7-1 <https://www.bg.s.u-tokyo.ac.jp>

〒321-1435 栃木県日光市花石町1842 <https://www.bg.s.u-tokyo.ac.jp/nikko>